

姉妹都市ライマ市を訪問 ホームステイ交流 ～ますます広がる交流の輪～

8月19日(木)から25日(水)の7日間、国際的な相互理解と人材育成などを目的に、中学2・3年生12人と播磨町国際交流協会員12人が、アメリカ合衆国オハイオ州ライマ市を訪問しました。訪問先ではホームステイを経験し、ホストファミリーや市民の温かい歓迎を受け、交流の輪を深めました。
▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

参加した中学生の感想を紹介します。

●内山 直子さん

一週間の間で色々な体験ができたと思います。アメリカなんて何回も行くことができないし、ホームステイをしたので、本当のアメリカの生活を体験できてよかったです。それに、ライマ市の文化も、博物館などを行って、分かりました。私がライマ市へ行く前に決めていた「ライマ市の文化を学ぶ」「英語を勉強する」という二つの目的が達成できて良かったです。やっぱり大変なこともありました。だけど、楽しいことの方がたくさんありました。

ホームステイ先の方が優しく、仲良くなれてよかったです。色々な体験や経験ができて、本当によかったです。

●江頭 朋樹さん

最初の集まりを終えて、いざ戦国！と言わんばかりの緊張が、胸の奥でバクンバクンと音を立てていました。その緊張を胸にホームステイ先にたどり着きました。広い、の一言に尽きる大きさでした。みんな背が大きいし、英語が流暢すぎて、とても戸惑いました。だけど、ホームステイ先のお母さんは、ゆっくり分かりやすくしゃべってくれたので、うれしかったです。優しさを感じた一瞬でした。

ライマ市訪問事業を終えて、ライマ市の文化や人の優しさ、そして、地域愛について学びました。ライマ市と播磨町がいつまでも姉妹都市として交流を続けていることを願っています。

●大歳 貢生さん

まず驚いたのは、レディーファーストがアメリカでは、とても定着していることです。僕たちはそういう習慣がなかったので驚いたのと同時に、見習いたいと思いました。

僕は英語があまり話せませんが、ジェスチャーやホストファミリーが持っている辞書で意思の疎通を図りました。それでも伝わらなかつたりしました。もっと単語を知っておかないといけないなと思いました。

最後に帰る時に、ホストファミリーに「いつでも家に来たらいいよ。待ってるからね。」と言われ、国を越えての温かみを感じました。将来は、外国と関わる仕事につきたいです。

●角野 立治さん

通知が来た時は、うれしくて、わくわくして、夜も寝れなかった。その時は、アメリカは遠くて何も知っていることは無いに等しかった。しかし、出発の日が近づいてくるのに反比例してアメリカの知識も深くなっていった。

アメリカへ行ってたくさんびっくりする所や日本と違う所があったりして、それを見つけて、本当に良い経験

になった。大人になってライマ市の人に来るならよろこんで受け入れをしてみたい。このホームステイを経験してアメリカがすごく近い所になったと感じられるようになった。

これからの生活や勉強に今回の経験が活かされるようにしていきたい。

●小西 里奈さん

このライマ市訪問を経験し、得たものは大きかったです。その中でもアメリカの人々の優しさと元気なあいさつは私も見習わないといけないと思いました。日本人の私にゆっくり話してくれたり、日本語であいさつしてくれたり気を使っている所を見ていると「もっと英語を話せるようになりたい」そんな強い思いを持ち日本に帰ってきました。大好きな英語をもっともっと学び、日本の文化について一人でも多くの人に伝えたいです。

ホームステイに行かせてくれた日本の家族、私のことを温かく受け入れてくれたホストファミリー。いろんな人に感謝の気持ちでいっぱいです。

●佐伯 隼弥さん

2日目からは、日に日に英語の生活に慣れてきました。1日目は、あまり理解出来なかつたけど少しずつ理解できるようになりました。すると、ホストの方と話をする回数も増え、ますますアメリカでの生活が楽しく感じられました。この一週間は、普段体験出来ないことをたくさん体験することが出来ました。英語だけの生活はとてもしんどいけど、いい体験もでき、いい勉強にもなりました。アメリカに行く前は、あまり英語に自信が無く不安でいっぱいでしたが、日本に帰ってくると不安はほとんど無くなり、英語に少し自信が持てるようになりました。



▲友好のしるしに町からライマ市に贈った桜の前で

●西宮 巧馬さん

僕がホームステイをして一番印象に残っていることは、ホストファミリーが優しく接してくれて楽しく過ごしたことです。特に最初は、ホストファミリーが何を言っているのかが分からなくて大変迷惑をかけたけど、だんだん聞いていくうちに慣れてきて話しかけられた事が何を意味するのか分かってきて、最後は、会話まではいけなかつたけど質問に答えたりすることができたので、アメリカに行った価値はあったかなと思います。今回みたいな貴重な体験をさせてくれたホストファミリーにはとても感謝しています。

●西村 綾乃さん

ライマ市訪問の参加が決まってまず最初に不安だったのは、ちゃんと英語で話せるかどうかでした。ホームステイをする前に来たホストからのメールは、とてもうれしかったけど、分からない英語が多すぎてとても困りました。

ホストファミリーは、皆優しくていい人ばかりでした。

このライマ市訪問に参加して、アメリカと日本の文化の違いをたくさん学びました。やっぱり、英語はあまりしゃべれませんでした。だから私は、もっと英語を勉強して、たくさん話せるようになって、もう1回ホームステイに参加したいです。

●湊 あゆみさん

最後の夜、折紙をホストファミリーに教えてあげるとすごく喜んでくれていっしょに折ってくれました。その顔を見て、このライマ市にホームステイに来てほんとう



によかったなと思いました。

言葉は百パーセント通じることはできなかったけれど、心はちゃんと通じることができたんじゃないかなと思いました。ライマ市に行って、ライマ市やアメリカのことをとても身近に感じられるようになりました。アメリカの良さが、よく分かりました。日本から離れてみて、日本の良さもよく分かりました。短い期間だったけれど、有意義に過ごすことができたと思います。

●宮永 礼佳さん

姉妹都市であるアメリカのライマ市を訪問した。実際にその土地に行かなければ感じる事のできない雰囲気があった。

今までの私なら考えもしなかつた事を考えたこの訪問で、見聞きし、感じた事を大切に忘れることなく、これからの生活に活かしたい。ホストファミリーに温かく迎えられる、感じた「愛」は失う事なく心の中にあり続けると信じる。ライマ市と姉妹提携を結ぶ播磨町に住む一人として、これからの交流の環の中に居たいと思うと同時に、今回出会ったすべての人に対して抱く感謝の想いをエネルギーに変え、国際的に活躍する人間として歩み始めたい。

●森本 圭杜さん

初めてのホームステイでぼくはとても緊張していましたが、でもライマ市に着いたときにホストファミリーがとても温かく迎えてくれてホッしました。家に着いてからは英語で会話しました。なんとか英語が通じてうれしかったです。

一番印象に残った一日は歓迎会の日でした。ぼくは出し物で播磨町国際交流協会の人達と「世界に一つだけの花」を歌った後にケン玉をしました。成功して拍手がえってきた時はすごくうれしかったです。

ホームステイでとてもいい経験ができました。これからもっと英語を勉強してまたライマ市を訪問したいです。

●山本 陽介さん

ぼくは、アメリカに行けてよかつたと思いました。アメリカに行くまでも大変で到着後も大変だったのによかつたと思えるのが不思議でした。なぜなら、すること全てが初めてだからです。アメリカに行く前にあった面接や作文のテストやパスポートを作ったりといろいろなことをしました。アメリカに到着してからは、いろんな人と話しをしたり、アメリカの料理を食べたりしました。

ぼくはこのアメリカに行っているいろいろなことが学べました。いろんな人と話した英語を生活や勉強に活かしたいです。この一週間とても楽しかったです。また、もう一度行ってみたいです。